

# 「平成30年度に実施した仕事」の振り返りシート

記入日 平成31年 4月 10日

仕事の内容	インターネット広報事業				
担当部署・課長名	秘書広報	課	広報	係	課長名 五十嵐 孝雄

この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。	施策番号	行	3	—
【施策名】 市民自治の向上	総合計画書 (ページ)	127		

予算名	款	総務費	項	総務管理費	目	広報費	事業	広報活動費
-----	---	-----	---	-------	---	-----	----	-------

1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。	① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標)
	市民 →人口(平成30年4月1日現在)	
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に] ITを活用した広報を介し、希望する時に市政やイベントなどの情報を入手することができる。	② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標) ①ホームページ年間アクセス件数(平成31年3月31日現在) ②ツイッター登録(フォロワー)件数(平成31年3月31日現在) →③メールマガジン登録件数(平成31年3月31日現在) ④フェイスブックの「いいね」数(平成31年3月31日現在) ⑤YouTubeの動画の年間再生回数(平成31年3月31日現在)
③ そのために何をしましたか。 適時に情報を更新し、提供した。	③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標) ①ページ更新数 ②ツイッター投稿数 →③メールマガジン配信数 ④フェイスブック投稿数 ⑤YouTube動画投稿数(累計)	

		単位	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	平成31年度目標	平成32年度目標	
2 指標の推移	対象指標	①の数値	世帯	38,104	38,405	38,705		
	成果指標	②の数値	件・回	①954,605 ②2,137 ③358 ④528 ⑤7,001	①2,488,547 ②2,484 ③367 ④754 ⑤9,534	①6,065,585 ②2,887 ③435 ④1,016 ⑤8,719		
	目標	②の目標値	件・回			①6,200,000 ②2,900 ③450 ④1,100 ⑤10,000	①6,400,000 ②3,100 ③500 ④1,300 ⑤11,000	①6,600,000 ②3,400 ③550 ④1,500 ⑤12,000
	目標値設定の考え方		より多くの方に情報を提供する。					
活動指標	③の数値	件・回	①1,905 ②372 ③48 ④97 ⑤19	①2,076 ②420 ③48 ④101 ⑤21	①1,771 ②660 ③48 ④266 ⑤52			

3 経費	事業費(実績)		円	4,587,128	9,442,938	4,119,526	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,244,000円 時間単価は、4,200円 で計算してください。 【算出根拠】平成29年度決算数値。(退職手当組合負担金、共済費も含む。)
	財源	一般財源	円	4,587,128	9,032,938	4,119,526	
		特定財源	円	0	410,000	0	
	(うち受益者負担)		円				
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	1.0	1.0	1.0	
		所要人数(再任用)	人				
職員人件費(再任用以外)		円	8,267,000	8,253,000	8,244,000		
職員人件費(再任用)		円					
事業費+人件費		円	12,854,128	17,695,938	12,363,526		

この仕事における市の裁量 市の裁量は大きい

4 環境変化	この仕事の開始時期(開始年度)、何を目的に開始していますか。
	①ホームページは、平成12年10月に、市民に市の情報を提供する手段として開始した。 ②ツイッターは、平成25年1月に、市政への関心を深めてもらうため、また、防災時の情報提供の手段として活用するために開始した。 ③メールマガジンは、平成25年2月に、希望ジャンルの情報を直接お知らせするため開始した。 ④フェイスブックは、平成26年4月に、市政情報やイベント情報を発信するために開始した。 ⑤動画配信サービスYouTubeは、市が作成した動画等を配信するため、平成27年10月に利用開始した。
	開始当初と比較し、状況の変化はありますか。 ホームページ編集については、平成16年度のCMS導入により、専門知識のない職員でも編集が可能となった。

仕 事 の 内 容	インターネット広報事業				
担当部署・課長名	秘書広報	課	広報	係	課長名 五十嵐 孝雄

5 市民等の意見	この仕事に関して、平成30年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について 特になし。				
6 市民協働	(1)市民協働の取組を行いましたか。ある場合は、取組手法の種類から番号を選択。(複数回答可)				
	取り組んだ	取組手法	⑥ 【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換(広報媒体:ホームページ、ツイッター、メールマガジン、フェイスブック、YouTube、その他インターネット上の情報発信ウェブサイト) ⑦後援・場の提供 ⑧その他( )		
(2)平成31年度に向け、さらに適した協働の形態とするための「考え」又は「気付いた」点 市の情報を適時・的確に市民の方に伝えることは、市民協働において重要な要素であることから、引き続き正確な情報提供に努めたい。					
7 課題	(1)「平成29年度に実施した仕事」の振り返りシート 「7 課題(2)」の内容 ①ホームページについては、ウェブアクセスシビリティの確保及び向上が引き続き必要である。 ②ツイッター、フェイスブックについては、より一層の情報発信が必要である。				
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、平成30年度に実施したこと。 ①ホームページについては、ウェブアクセスシビリティの確保及び向上のため、ホームページを更新する都度、確認、修正を行った。 ②ツイッター、フェイスブックについては、タイムリーに投稿できるよう、平成30年4月から、各課で投稿できるようにした。				
	(3)(2)を踏まえた今後の課題 ①のホームページについては、分かりにくいページ等の改善が必要である。 ②ツイッター、フェイスブックについては、各課でタイムリーに投稿できたが、年間で見ると投稿数が少ない時期がある。				
	(1)仕事の方向性(「7 課題(3)」)の課題解決に向けた具体的な改革・改善案など ①ホームページについては、ページアンケートの結果や他市のホームページを参考にページの改善を検討する。 ②ツイッター、フェイスブックについては、秘書広報課において、投稿数が少ない時期に季節に関する自然風景等の投稿を行う。また、主管課において、イベントの事前投稿に努める。				
8 今後の方向性	(2)上記(1)の改革・改善案を実現するために、克服すべき問題点、必要な調整・準備等 ①ページの改善、修正を行うには、主管課と内容の調整、確認を行うことが必要である。 ②ツイッター、フェイスブックについては、季節に関する投稿をするために、秘書広報課が市内の自然風景等の情報収集をする必要がある。				
	(3)改革・改善案による期待成果 上記(1)の改革・改善案を実施することで、成果面と経費面で現状からどのように変わりますか。				
	成果	成果を向上させる。		経費	仕事の経費は維持する。